

平成30年度 全国中学校体育大会
第58回全国中学校水泳競技大会

- ◇目的 本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広く水泳競技の実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- ◇主催 (公財)日本水泳連盟・(公財)日本中学校体育連盟・岡山県教育委員会・倉敷市教育委員会
- ◇主管 (NPO)岡山県水泳連盟・中国中学校体育連盟・岡山県中学校体育連盟・備南東地区中学校体育連盟
- ◇後援 スポーツ庁・全日本中学校校長会・都道府県教育長協議会・全国市町村教育委員会連合会・(公社)日本PTA全国協議会・日本私立中学高等学校連合会・NHK・全国新聞社事業協議会・毎日新聞社・岡山県・倉敷市・岡山県中学校長会・(公財)岡山県体育協会・(一財)倉敷市体育協会

8月17日(金)～19日(日) 競泳競技……………児島地区公園水泳場(児島マリンプール)
8月17日(金)～19日(日) 飛込競技……………児島地区公園水泳場(児島マリンプール)

競泳競技

◇期 日 平成30年8月17日(金)・18日(土)・19日(日)

(1)開会式 8月17日(金) 11:15～11:45

(2)競技 8月17日(金)～19日(日)

(3)閉会式 8月19日(日) 16:00～16:20(予定)

◇会 場 児島地区公園水泳場(児島マリンプール)(公認50m×9レーン)

〒710-0912 岡山県倉敷市児島小川町3697-2

TEL 086-472-0133 FAX 086-472-0226

◇公式計時 SEIKO

◇競技方法

(1)男女別学校対抗とする

(2)各種目とも予選は9レーンで実施し、タイムレースで行う。

(3)決勝は、予選の結果上位8名(チーム)が出場できる。ただし、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。また同タイムのため9名(チーム)以上になった場合は、スイムオフにより決勝進出者を決定する。ただし、800m、1500m自由形は抽選とする。(補欠の優先順位は抽選により決定する。)

◇競技種目

	(男子)					(女子)				
・自由形	50m	100m	200m	400m	1500m	50m	100m	200m	400m	800m
・背泳ぎ		100m	200m				100m	200m		
・平泳ぎ		100m	200m				100m	200m		
・バタフライ		100m	200m				100m	200m		
・個人メドレー			200m	400m				200m	400m	
・フリーリレー				4×100m					4×100m	
・メドレーリレー				4×100m					4×100m	

◇競技順序

(1日目) 8月17日(金) 競技開始 12:30～

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|----|-------|--------|--------|----|
| 1. 女子 | 800m | 自由形 | 予選 | 5. 女子 | 400m | 個人メドレー | 予選 |
| 2. 男子 | 1500m | 自由形 | 予選 | 6. 男子 | 400m | 個人メドレー | 予選 |
| 3. 女子 | 50m | 自由形 | 予選 | 7. 女子 | 4×100m | フリーリレー | 予選 |
| 4. 男子 | 50m | 自由形 | 予選 | 8. 男子 | 4×100m | フリーリレー | 予選 |

(2日目) 8月18日(土) 競技開始 9:15～

- | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|----|--------|--------|--------|----|
| 9. 女子 | 4×100m | メドレーリレー | 予選 | 22. 男子 | 1500m | 自由形 | 決勝 |
| 10. 男子 | 4×100m | メドレーリレー | 予選 | 23. 女子 | 50m | 自由形 | 決勝 |
| 11. 女子 | 200m | 自由形 | 予選 | 24. 男子 | 50m | 自由形 | 決勝 |
| 12. 男子 | 200m | 自由形 | 予選 | 25. 女子 | 200m | 自由形 | 決勝 |
| 13. 女子 | 200m | バタフライ | 予選 | 26. 男子 | 200m | 自由形 | 決勝 |
| 14. 男子 | 200m | バタフライ | 予選 | 27. 女子 | 200m | バタフライ | 決勝 |
| 15. 女子 | 200m | 背泳ぎ | 予選 | 28. 男子 | 200m | バタフライ | 決勝 |
| 16. 男子 | 200m | 背泳ぎ | 予選 | 29. 女子 | 200m | 背泳ぎ | 決勝 |
| 17. 女子 | 200m | 平泳ぎ | 予選 | 30. 男子 | 200m | 背泳ぎ | 決勝 |
| 18. 男子 | 200m | 平泳ぎ | 予選 | 31. 女子 | 200m | 平泳ぎ | 決勝 |
| 19. 女子 | 400m | 個人メドレー | 決勝 | 32. 男子 | 200m | 平泳ぎ | 決勝 |
| 20. 男子 | 400m | 個人メドレー | 決勝 | 33. 女子 | 4×100m | フリーリレー | 決勝 |
| 21. 女子 | 800m | 自由形 | 決勝 | 34. 男子 | 4×100m | フリーリレー | 決勝 |

(3日目) 8月19日(日) 競技開始 9:15～

- | | | | | | | | |
|--------|------|--------|----|--------|--------|---------|----|
| 35. 女子 | 400m | 自由形 | 予選 | 48. 男子 | 100m | バタフライ | 決勝 |
| 36. 男子 | 400m | 自由形 | 予選 | 49. 女子 | 100m | 自由形 | 決勝 |
| 37. 女子 | 100m | バタフライ | 予選 | 50. 男子 | 100m | 自由形 | 決勝 |
| 38. 男子 | 100m | バタフライ | 予選 | 51. 女子 | 100m | 背泳ぎ | 決勝 |
| 39. 女子 | 100m | 自由形 | 予選 | 52. 男子 | 100m | 背泳ぎ | 決勝 |
| 40. 男子 | 100m | 自由形 | 予選 | 53. 女子 | 100m | 平泳ぎ | 決勝 |
| 41. 女子 | 100m | 背泳ぎ | 予選 | 54. 男子 | 100m | 平泳ぎ | 決勝 |
| 42. 男子 | 100m | 背泳ぎ | 予選 | 55. 女子 | 200m | 個人メドレー | 決勝 |
| 43. 女子 | 100m | 平泳ぎ | 予選 | 56. 男子 | 200m | 個人メドレー | 決勝 |
| 44. 男子 | 100m | 平泳ぎ | 予選 | 57. 女子 | 400m | 自由形 | 決勝 |
| 45. 女子 | 200m | 個人メドレー | 予選 | 58. 男子 | 400m | 自由形 | 決勝 |
| 46. 男子 | 200m | 個人メドレー | 予選 | 58. 女子 | 4×100m | メドレーリレー | 決勝 |
| 47. 女子 | 100m | バタフライ | 決勝 | 60. 男子 | 4×100m | メドレーリレー | 決勝 |

※競技時間については、監督者会議およびホームページで知らせる。

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 選手は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、第58回全国中学校水泳競技大会要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は、平成15年(2003年)4月2日以降生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、平成30年6月30日(木)までに、各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 参加を希望する各種学校は以下に定める条件を具備すること。

1) 全国大会の参加を認める条件

- (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- (イ) 生徒の年齢および修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
- (ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

2) 全国大会に参加した場合に守るべき条件

- (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。
また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

(5) 都道府県予選会で予選・決勝を問わず標準記録を突破した者およびチーム（同タイムを含み、フリーリレー、メドレーリレーは1チーム6名まで）は、その種目に申し込むことができる。

ただし、開催都道府県において、標準記録突破者およびチームがない場合は、その種目に限り上位1名・1チームの申し込みができる。800m、1500m自由形はその限りでない。

(6) 特別措置

国際大会出場のため、やむを得ず予選会に出場できない場合は、所定の手続を経て、予選に参加せず、本大会への出場を認める。この場合の国際大会とは、(公財)日本水泳連盟が派遣する国際大会を対象とする。

2. 標準記録

(種目)	(距離)	(男子)	(女子)	(種目)	(距離)	(男子)	(女子)
自由形	50m	25.09	27.28	平泳ぎ	100m	1:06.77	1:13.45
	100m	54.72	59.49		200m	2:23.89	2:36.66
	200m	1:58.53	2:08.01	バタフライ	100m	58.25	1:03.81
	400m	4:11.38	4:28.77		200m	2:09.37	2:19.85
	800m		9:17.10		個人メドレー	200m	2:12.72
1500m	16:41.86		400m	4:43.07		5:02.79	
背泳ぎ	100m	1:01.31	1:05.80	フリーリレー	4×100m	3:51.86	4:10.79
	200m	2:12.36	2:21.14	メドレーリレー	4×100m	4:17.23	4:37.92

(注) ①都道府県の予選会は長水路での大会に限る。

③フリーリレー、メドレーリレーにおける第1泳者の正式時間は、その対象としない。

3. 制限

- (1) 各都道府県予選会で参加資格を得た種目に限る。
- (2) 1校1種目3名、1人2種目以内（リレー種目は除く）とする。

4. 参加料

参加選手1人につき3,000円とする。（リレー種目の補欠選手も3,000円とする。）

参加料の振込の際に必ず振込人の名前の前に都道府県名をつけること。

振込先は、開催地実行委員会が発行する第58回全国中学校水泳競技大会実施要項を参照

5. 申込方法

- ① 出場校は、Web-SWMSYSによりエントリーをする。
- ② 出場校は、開催地実行委員会発行の第58回全国中学校水泳競技大会実施要項に従い、必要書類を各都道府県中学校体育連盟に提出する。
- ③ 各都道府県中学校体育連盟は、会長承認後、開催地実行委員会発行の第58回全国中学校水泳競技大会実施要項に従い、必要書類を一括して締切日までに下記の申込先に提出する。
- ④ 内容確認期間を設け、その間はホームページで内容を確認できる。訂正がある場合、8月4日（土）

～8月5日（日）の間、倉敷市実行委員会事務局にFAX（086-421-6018）にて行うこと。

6. 申込先 倉敷市実行委員会が発行する大会実施要項参照

7. 申込締切

平成30年7月31日（火）必着のこと。書類は、簡易書留速達で大会事務局へ郵送すること。ただし、申込締切日に届かないことが予想される場合は、書類はファックスで送付すること。その後、正式書類は至急郵送すること。

◇引率者および監督

(1) 引率者および監督は、出場校の校長・教員とする。ただし、コーチが必要な場合は、校長の認めた者とし、所定の「外部指導員（コーチ）確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出する。

(2) 外部指導員（以下コーチ）について

全国大会ではコーチをおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者確認書（校長承諾書）」に必要事項を記入し、大会事務局の参加申込時に提出する。ただし当該校以外の教員は外部指導者になれない。

(3) 引率者の特例

全国中学校体育大会の個人種目の参加について、校長・教員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導員の引率を認める。

◇競技方法 2018年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

◇得点（優勝校）の決定

各種目ごとに1位8点、2位7点・・・8位1点（ただしリレー種目は1位16点、2位14点・・・8位2点）とし、総得点の最も多い学校を優勝校とする。総得点が同じ場合は、次の順によって決定する。

- (1) リレー種目の得点の多い学校。
- (2) 入賞者の多い学校。
- (3) 1位の多い学校。
- (4) 2位の多い学校（以下8位までこれにならう）。

◇ドーピング検査

本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。

◇表彰

(1) 個人・リレー種目成績

各種目3位までの選手・チームにメダルならびに賞状を授与し表彰する。8位までの選手・チームに賞状を授与する。

(2) 総合成績

男女別優勝校には、(公財)日本水泳連盟より優勝旗を、ならびに(公財)日本中学校体育連盟よりトロフィーを贈る。併せて、男女ともに8位までの学校に賞状を贈る。

(3) 表彰式

表彰式への参加は3位までとする。

◇大会情報

プログラム編成後の競技時間等、大会運営内容の変更や連絡がある場合は、大会ホームページに掲載する。

◇宿泊・弁当

宿泊・弁当要項により斡旋する。

※宿泊については、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定業者を通して申し込むこと。指定外の宿泊施設の利用は、原則認めない。

◇個々人情報の取り扱い

大会の主催者は、個人情報に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は競技大会の参加審査・競技大会運営上必要なプログラム編成および作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他、競技運営および必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手は、これに同意する。

◇その他

- (1) 開会式、式典には前年度優勝校と各ブロック代表20名が参加する。
- (2) 閉会式は、各ブロック代表5名が参加する。
- (3) 会期中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。ただし、参加者は、健康法保険証を持参すること。
- (4) 都道府県予選会において、主催団体は、次の点に留意すること。
 - ① 1会場1回とし、関係主催団体が計画実施すること。
 - ② (公財)日本水泳連盟宛て(〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内)に会場・連絡先を記入用紙で、平成30年4月30日までに報告された大会であること。
 - ③ 主催団体は競技終了後、直ちにその大会の詳細な記録を所定の方法で(公財)日本水泳連盟に報告すること。